

赤林伸一

新潟の住まいマニュアル

□19□

本当の高断熱・高気密住宅を建てるためには工務店の選定が重要です。

いい加減な広告にのせられて高断熱・高気密住宅を建築し、

いざ住んでみたら快適とはほど遠いような家を新築してしまつ場合も多いよ

うです。

住宅を選定

設する業者は、年に二百棟以上建設している大手の住宅メーカー、年に三十から百棟程度の地元工事店、年に二棟程度の地元の大工さんの三つに分けられます。

大手のメーカーはそれなりの技術力があり、住宅を大量に供給してま

がります。しかし、高断熱・高気密住宅に関しては北海道で実績があるだけで、新潟のような北海道とは異なる気候風土に適合した住宅を供給しているわけではありません。また、見積もり無料とか設計無料と宣伝して

工務店の選定

地元の中規模業者を

いるメーカーは、結果的に他人の住宅の見積もり費用や設計費用を負担することになりますから注

意が必要です。適度な性能の家を適正な価格で建築しようと思えば、大手の住宅メーカーに依頼するのが良いでしょう。

住宅展示場を回っているのが良いので、ワークにして、快適でな

快適な高断熱・高気密住宅の条件

気密性能	隙間の有効開口面積	2.0cm ² /m ² 以下
断熱性能	熱損失係数	1.5kcal/m ² ・h・℃以下
暖房設備	密閉型ストーブ、パネルヒーター	床暖房のいずれかが設置されている
冷房設備	セントラル冷房又は天窗による通風	
性能表示	気密や断熱性能が表示されている	
マニュアル	住まい方のマニュアルがある	

●自動車やテレビのカタログにはその製品の性能が詳しく書かれています。また使い方の説明書が必ず付いています。住宅でもこの様な表示やマニュアルが必要なのは言うまでもありません。

●これらの項目についてセールスマンに詳しく尋ねてみましょう。技術力があり、教育の行き届いた工務店ならば的確な答えが返ってくるはずで

がやってくる、根ほり葉ほり聞かれるのもたまっ

たものではありません。地元の工務店は、技術力のばらつきが大変大きいのが特徴です。よく研究して快適な住宅を提供している工務店もありま

すし、単に広告で安価で

い住宅を建設している工務店もありません。高断熱・高気密住宅の知識を持つ

に勉強している人もま

います。

対応した技術者の育成にも積極的な工務店が、本当に快適な住宅を発注する最も適した工務店であるといえます。

工務店を選定するに当たっては、セールスマンとだけ話をするのではなく、技術者とよく話をし

る本当の知識を持っているかどうかを確認するの

が大変重要です。
(新潟大学工学部助教)

の(年商十億円から三十億円程度)工務店を選定することだと考えます。これより大きくなると小回りがきかなくなり、施主のさまざまな要求にこたえることが困難になりますし、これより小さいと新しい技術への対応も遅れがちになります。研究開発に熱心で、新しい工法や技術に